

シンポジウム 「地域社会と多文化共生」

日時：2019年 2月 19日 (火)
2月 20日 (水)

場所：筑波大学つくばキャンパス
第2エリア 2B412教室

参加無料。どなたでも自由にご参加下さい。

プログラム

2月19日 (火)

- 13:00～ 開会のあいさつ 青木 三郎 (筑波大学 人文社会系長)
- 13:15～14:30 【基調講演】韓国における多文化社会の葛藤解決と実践 ―ソウル加里峰洞の朝鮮族タウンを中心に―
金 京姫 (韓国外国語大学大学院 グローバル文化コンテンツ学科)
- 14:40～15:20 ① 韓国における外国籍児童の教育問題と改善 ―安山の国境なき町を中心に―
朴 相祐 (韓国外国語大学 日本語大学融合日本地域学部)
- 15:20～16:00 ② 日本国内の日本語指導を必要とする児童・生徒への学校教育 ―高校での実践・研究を中心に―
坂井 香澄 (筑波大学大学院 人文社会科学研究科文芸・言語専攻)
- 16:00～16:20 【ブレイクタイム】一概には言えない帰国生のタイプ
野村 唯李 (筑波大学 人文・文化学群日本語・日本文化学類)
- 16:30～17:10 ③ 外国人労働者に対する支援の現状と問題 ―安山の多文化町を中心に―
李 濬赫 (韓国外国語大学 日本語大学融合日本地域学部)
- 17:10～17:50 ④ 2018年冬の入管法改正 ―地域社会と多文化共生についての示唆―
明石 純一 (筑波大学 人文社会系)
- 18:15～ 懇親会 (スーパファクトリー・会費制)

2月20日 (水)

- 13:00～ 主催者あいさつ 海後 宗男 (筑波大学 人文社会科学研究科国際日本研究専攻(博士後期課程)専攻長
／人文社会国際比較研究機構長)
- 13:10～13:50 ⑤ 途上国における多言語多文化状況下での言語教育の開発 ―JICA「ミャンマー国初等教育改革プロジェクト」での試み―
長田 友紀 (筑波大学 人間系)
- 13:50～14:30 ⑥ 無資格在留外国人の生活実態と日本語習得に関する一考察 ―クルド人女性へのインタビュー調査から―
片山 奈緒美 (筑波大学大学院 人文社会科学研究科国際日本研究専攻(博士後期課程))
- 14:40～15:20 ⑦ 韓国と日本における在日と多文化共生 ―生野コリアタウン祭りをを中心に―
鄭 聖希 (韓国外国語大学大学院 グローバル文化コンテンツ学科)
- 15:20～16:00 ⑧ ネパール人留学生急増の背景 ―ネパール首都カトマンズの日本語学校の役割―
鈴木 伸隆 (筑波大学 人文社会系)
- 16:10～16:30 【日韓合同企画】新大久保フィールドワーク活動紹介
朴 宣美 (筑波大学 人文社会系)
- 16:30 閉会のあいさつ 谷口 孝介 (筑波大学 人文・文化学群日本語・日本文化学類長)

事前参加申し込み

こちらのサイトよりお申し込み下さい。
<http://pr4.work/1/tabunka>
人数把握のため、事前参加申し込みをお願いしておりますが、当日参加も可能です。
お問い合わせ：筑波大学人文社会系・准教授 澤田浩子 sawada.hiroko.gb@u.tsukuba.ac.jp

